

※このPDFは表紙と目次のみです。

SuFRe

Support office for Female Researchers
in Shinshu University since 2011

信州大学
ロールモデル集

vol.4

輝け☆
リケジョー!





男女共同参画の推進、 ダイバーシティ環境の実現をめざして!

松岡 英子

男女共同参画推進室長・学長補佐・学術研究院教授(教育学系)

本学は平成23年10月に「女性研究者支援室」を設置し、平成26年度からは「男女共同参画推進室」に発展的に改組して、女性研究者支援をはじめとした男女共同参画の推進、ダイバーシティ環境の実現を目指してまいりました。

本学の女性研究者比率は平成23年に事業を開始した時は11.9%（任期なし、助手を含む）でしたが、平成27年5月には15.2%となり、38名増加しました。しかし、理・工・農・繊維の自然科学系分野では僅かの増加しかみられず、4つの学系を合わせても女性は20名しかおりません。本学の今後の課題は、自然科学系分野の女性研究者と女子大学院生を増加させることです。

そこで、4冊目のロールモデル集となる本誌は、自然科学系に係る9名の教職員にこれまでのライフ・コース、子育てと仕事の両立、学生さんへのメッセージなどを語っていただき、毎日をいきいきと過ごしている姿をお伝えしたいと思います。また、研究に取り組んでいる男女大学院生による座談会も企画し、普段感じていなかったジェンダーに気づき、ジェンダー・バイアスを考え、自身の将来を見通した課題について本音で話し合いました。

日本学術振興会特別研究員は育児休業が取れますし、RPD（出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ）という制度もあります。また、育児や研究を支援する民間の助成金制度もあり、環境整備も含めて徐々にではありますが女性への支援が整ってきています。私たちの生活や価値観は多様になっており、研究者への道も多様な選択肢があり、いくつものロールモデルが必要です。既成の価値や行動にとらわれることなく、各人のペースで研究継続が可能になるような環境づくりを目指して今後も活動を続けてまいります。

実験や研究が大好きで、やりがいを感じているみなさんが研究への道を選択するきっかけになれば幸いです。

平成28年3月

Contents



座談会 研究者の卵たちと考える 私たちの男女共同参画 4-11

Interview.1 芳賀 亜紀子【学術研究院講師(保健学系)】 12-13

Interview.2 島野 光司【学術研究院准教授(理学系)】 14-15

Interview.3 時田 真美乃【学術研究院助教(工学系〈総合情報センター〉)】... 16-17

Interview.4 小笠原 寛【学術研究院助教(繊維学系〈ヒト環境科学研究支援センター〉)】... 18-19

Interview.5 勝山 絵梨【医学部附属病院 放射線部 診療放射線技師】 20-21

Interview.6 番場 教子【学術研究院准教授(工学系)】 22-23

Interview.7 伊藤 冬樹【学術研究院准教授(教育学系)】 24-25

Interview.8 田中 沙智【学術研究院助教(テニユア・トラック)(農学系)】 26-27

Interview.9 浜野 充【学術研究院講師(農学系)】 28-29

資料編 信州大学における男女共同参画の取組 30

※このPDFは表紙と目次のみです。

冊子をご希望の方は、男女共同参画推進センターまで
ご連絡ください。



信州大学 男女共同参画推進委員会
信州大学 男女共同参画推進室

発行：平成 28 年 3 月

松本分室(総務部人事課内)
〒 390-8621 松本市旭 3-1-1
Tel. 0263-37-2167 Fax.0263-37-3314 内線 811-2127

長野分室(教育学部内)
〒 380-8544 長野市西長野 6 の口
Tel / Fax. 026-238-4048 内線 831-4048